

# 令和3年第1回（3月）上越市議会定例会

## 農政建設常任委員会資料

案件番号	案件名	提出課	ページ
議案第21号	令和2年度上越市水道事業会計補正予算（第2号）	経営企画課	1～2
議案第38号	上越市水道事業給水条例の一部改正について	総務課	3～4
議案第8号	令和3年度上越市ガス事業会計予算	経営企画課	5～49
議案第9号	令和3年度上越市水道事業会計予算		50～129
議案第10号	令和3年度上越市工業用水道事業会計予算		130～132

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第21号
提出課	経営企画課

## 令和2年度上越市水道事業会計補正予算（第2号）の概要

単位：千円

収益的収入及び支出		補正前	補正額	計
収入	1 水道事業収益	6,796,158	0	6,796,158
支出	1 水道事業費用	5,583,520	276	5,583,796
	3 営業外費用	433,625	276	433,901
	4 消費税及び地方消費税	160,914	276	161,190
	1 消費税及び地方消費税	160,914	276	161,190
収 支 差 引 ( 純 利 益 )		1,212,638 (1,001,834)	△ 276 (0)	1,212,362 (1,001,834)

資本的収入及び支出		補正前	補正額	計
収入	1 資本的収入	1,018,461	△ 29,700	988,761
	3 工事負担金	396,013	△ 29,700	366,313
	1 工事負担金	396,013	△ 29,700	366,313
	1 工事負担金	396,013	△ 29,700	366,313
支出	1 資本的支出	4,338,965	△ 32,736	4,306,229
	1 建設改良費	3,215,903	△ 32,736	3,183,167
	2 配水及び給水設備	2,525,035	△ 32,736	2,492,299
	9 導管本支管	2,358,527	△ 32,736	2,325,791
差 引 不 足 額		3,320,504	△ 3,036	3,317,468

### 【補正理由】

県道改良工事の工程変更などに伴い、水道管移設工事の関連経費を減額するもの

【補正内容】

収益的支出

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
その他営業外費用	162,187	276	162,463
増減内訳			
○ 補正に伴う消費税及び地方消費税の再計算 消費税及び地方消費税			276

資本的収入

単位：千円

項目	補正前	補正額	補正後
工事負担金	396,013	△ 29,700	366,313
増減内訳			
○ 県道改良工事の延期に伴う工事負担金の減 工事負担金			△ 29,700

資本的支出

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後						
その他建設改良費	2,609,863	△ 32,736	2,577,127						
増減内訳									
導管本支管									
○ 県道改良工事の延期に伴う水道管移設工事の減			△ 29,700						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>口径</th> <th>延長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浦川原区下猪子田地内</td> <td>φ 150mm</td> <td>L=80m</td> </tr> </tbody> </table>			施工箇所	口径	延長	浦川原区下猪子田地内	φ 150mm	L=80m	
施工箇所	口径	延長							
浦川原区下猪子田地内	φ 150mm	L=80m							
○ 県道横断水路工事の支障対象外となったことによる水道管移設工事の減			△ 3,036						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>口径</th> <th>延長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吉川区道之下地内</td> <td>φ 100mm</td> <td>L=25m</td> </tr> </tbody> </table>			施工箇所	口径	延長	吉川区道之下地内	φ 100mm	L=25m	
施工箇所	口径	延長							
吉川区道之下地内	φ 100mm	L=25m							

所 管 委 員 会	農政建設常任委員会
関 係 案 件	議案第 3 8 号
提 出 課	総務課

## 上越市水道事業給水条例の一部改正について

### 1 改正理由

月の中で水道の使用を開始又は休止等した場合の固定料金の額について、使用日数に応じて日割計算とする方法に改めるもの

### 2 主な改正内容

- (1) 2月ごとに水道メーターの点検を行う場合において、その計量した使用水量の2分の1の水量をもって、計量した日の属する月分及びその前月分の使用水量とし、それぞれの月分の料金を算定する。(第30条関係)
- (2) 水道メーターの点検の日から次の点検の日までの間において水道の使用を開始、休止、若しくは廃止、又は再開した場合の当該月の固定料金について、使用日数に応じて日割計算する方法に改める。(第30条の2関係)
- (3) 水道メーターの口径を変更した場合の当該月の固定料金は、変更前及び変更後のそれぞれの使用日数に応じて日割計算して得た額とする。(第30条の2関係)
- (4) (1)から(3)までの改正は、施行日前から継続して水道を使用している者については、施行日以後最初に水道メーターの点検を行う日以後の水道の使用に係る料金から適用することとする。(附則第2項関係)
- (5) その他文言を整備する。

### 3 施行期日

令和3年9月1日

### 4 上越市水道事業給水条例改正案新旧対照表

(下線部分が改正箇所)

改 正 案	改 正 前
(料金) 第29条 略 料金表 (1) 固定料金 表 略 備考 1 略   (削除)  2 略 (2) 略	(料金) 第29条 略 料金表 (1) 固定料金 表 略 備考 1 略 2 月の中で水道の使用を開始し、 <u>休止し、若しくは廃止し、又は現に休止しているその使用を再開した場合の固定料金の額は、1月分として算出した額とする。</u> 3 略 (2) 略

改 正 案	改 正 前
<p>(料金の算定方法)</p> <p>第30条 略</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、管理者が必要と認める区域については、2月ごとに水道メーターの点検を行い、その使用水量をもって2月分の合計料金を算定することができる。<u>この場合において、その計量した使用水量の2分の1の水量をもって、計量した日の属する月分及びその前月分の使用水量（当該水量に1 m<sup>3</sup>未満の端数があるときは、計量した日の属する月分についてはこれを切り捨て、その前月分についてはこれを切り上げた水量）とし、それぞれの月分の料金を算定する。</u></p> <p style="text-align: right;">(削除)</p> <p>3 略</p> <p><u>(料金の算定方法の特例)</u></p> <p>第30条の2 管理者は、使用者又は給水装置管理人が水道メーターの点検の日から次の点検の日までの間において水道の使用を開始し、休止し、若しくは廃止し、又は現に休止しているその使用を再開したときは、必要に応じて前条第1項に規定する水道メーターの点検を行う日以外の日に使用水量を計量し、料金を算定することができる。</p> <p>2 前項の場合において、水道料金のうち固定料金は、第29条(1)の表の左欄に掲げる水道メーターの口径の区分に応じ、同表の右欄に掲げる月額を、使用日数に応じて日割計算して得た額とする。</p> <p>3 水道メーターの口径を変更した場合の当該月の固定料金は、変更前及び変更後のそれぞれの使用日数に応じて日割計算して得た額とする。 (追加)</p>	<p>(料金の算定方法)</p> <p>第30条 略</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、管理者が必要と認める区域については、2月ごとに水道メーターの点検を行い、その使用水量をもって2月分の合計料金を算定することができる。 _____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>3 月の中途において水道メーターの口径を変更した場合の当該月に係る固定料金は、変更前の口径による固定料金とする。</p> <p>4 略</p>

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第8号
提出課	経営企画課

## 令和3年度上越市ガス事業会計予算の概要

### ポイント

- ・第2次ガス事業中期経営計画に基づき予算編成を行った。
- ・ガス供給量は、近年及びコロナ禍における直近の需要動向を踏まえ、今後の需要見込みを契約種別ごとに推計し、前年度供給量に比べ269,275m<sup>3</sup>（0.4%）減の62,017,327m<sup>3</sup>とした。
- ・ガス売上は、供給量の減少により前年度に比べ7,676万円（1.3%）減の59億2,537万円を見込み、当年度純利益は1億7,594万円を予定する。
- ・ガスの安全性や利便性及び環境優位性をPRするなど、都市ガスの普及拡大に向け引き続き取り組む。
- ・建設改良費は、前年度に比べ2億9,368万円（21.2%）減の総額10億8,995万円を計上した。管路工事では、下水道工事などに合わせ、より耐震性に優れたポリエチレン管などへの更新を行い安定供給を図る。
- ・地震など、災害時におけるガス供給停止範囲を最小限とするガス管網のブロック化は、整圧器を新設し令和3年度で完了する。

### 1 業務の概要

単位：戸、m<sup>3</sup>、%

区 分	令和2年度		令和3年度	増減率	
	当初予算	補正後予算	当初予算	当初予算	補正後予算
供給戸数（調定件数）	46,581	46,581	46,651	0.2	0.2
年間供給量(45.0MJ)	62,286,602	62,286,602	62,017,327	△ 0.4	△ 0.4
一日平均供給量(45.0MJ)	170,648	170,648	169,910	△ 0.4	△ 0.4

## 2 予算の概要

### (1) 収益的収支の状況

単位：千円、%

区 分		令和2年度		令和3年度	増 減 率	
		当初予算	補正後予算	当初予算	当初予算	補正後予算
収 入	ガ ス 売 上	6,002,140	6,002,140	5,925,373	△ 1.3	△ 1.3
	営 業 雑 収 益	313,313	313,313	309,413	△ 1.2	△ 1.2
	附 帯 事 業 収 益	6,193	6,193	5,601	△ 9.6	△ 9.6
	営 業 外 収 益	420,863	420,863	356,640	△ 15.3	△ 15.3
	繰 入 金	4,634	4,634	3,750	△ 19.1	△ 19.1
	長期前受金戻入	377,947	377,947	314,030	△ 16.9	△ 16.9
	そ の 他	38,282	38,282	38,860	1.5	1.5
収 入 計		6,742,509	6,742,509	6,597,027	△ 2.2	△ 2.2
支 出	営 業 費 用	6,037,783	6,028,602	5,900,580	△ 2.3	△ 2.1
	原 料 ガ ス 費	3,861,950	3,861,950	3,840,768	△ 0.5	△ 0.5
	職 員 給 与 費	319,511	311,045	316,955	△ 0.8	1.9
	修 繕 費 等	135,873	135,873	157,614	16.0	16.0
	委 託 料	180,863	180,863	184,658	2.1	2.1
	需 要 開 発 費	19,537	19,537	14,043	△ 28.1	△ 28.1
	減 価 償 却 費	1,404,528	1,404,528	1,290,754	△ 8.1	△ 8.1
	そ の 他	115,521	114,806	95,788	△ 17.1	△ 16.6
	営 業 雑 費 用	307,677	306,860	305,892	△ 0.6	△ 0.3
	附 帯 事 業 費 用	6,143	6,143	5,553	△ 9.6	△ 9.6
	営 業 外 費 用	123,941	123,915	138,480	11.7	11.8
	支 払 利 息	48,290	48,290	42,374	△ 12.3	△ 12.3
	消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	75,651	75,625	96,106	27.0	27.1
	特 別 損 失 等	1,120	1,120	1,000	△ 10.7	△ 10.7
支 出 計		6,476,664	6,466,640	6,351,505	△ 1.9	△ 1.8
収 支 差 引 ( 純 利 益 )		265,845 (172,249)	275,869 (182,270)	245,522 (175,949)		

(2) 資本的収支の状況

単位：千円、%

区 分		令和2年度		令和3年度	増 減 率	
		当初予算	補正後予算	当初予算	当初予算	補正後予算
収 入	工事負担金	227,328	227,328	351,265	54.5	54.5
	固定資産売却収入	140,557	140,557	0	皆減	皆減
収 入 計		367,885	367,885	351,265	△ 4.5	△ 4.5
支 出	建設改良費	1,383,635	1,383,933	1,089,955	△ 21.2	△ 21.2
	土 地	3,840	3,840	2,748	△ 28.4	△ 28.4
	建 物	581,860	581,860	9,350	△ 98.4	△ 98.4
	構 築 物	0	0	528	皆増	皆増
	機 械 装 置	3,498	3,498	0	皆減	皆減
	ガスメーター	12,591	12,591	12,927	2.7	2.7
	導管本支管	654,350	654,343	961,657	47.0	47.0
	導管供給管	99,813	100,118	87,514	△ 12.3	△ 12.6
	そ の 他	27,683	27,683	15,231	△ 45.0	△ 45.0
	企業債償還金	351,354	351,354	327,559	△ 6.8	△ 6.8
支 出 計		1,734,989	1,735,287	1,417,514	△ 18.3	△ 18.3
差 引 不 足 額		1,367,104	1,367,402	1,066,249		
上 記 財 源 内 訳	損益勘定 留保資金等	1,124,104	1,124,402	1,048,249		
	積立金	243,000	243,000	18,000		
	計	1,367,104	1,367,402	1,066,249		

令和3年度予算の状況

【税込：万円未満省略】

収益的収支

資本的収支

収入：65億9,702万円

支出：63億5,150万円

収入：3億5,126万円

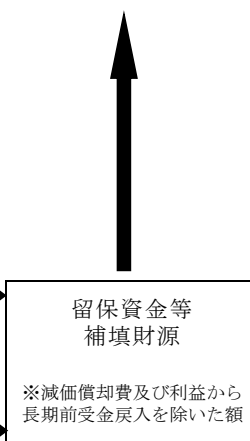
支出：14億1,751万円

ガス料金収入 59億2,537万円
長期前受金戻入 3億1,423万円
その他の収入 3億5,742万円

原料ガス費 38億4,076万円
人件費 3億2,538万円
修繕費等 1億6,162万円
委託料等 6億9,062万円
支払利息 4,237万円
減価償却費 12億9,075万円
△長期前受金戻入
収支差引額（利益） 2億4,552万円 （1億7,594万円）

工事負担金 3億5,126万円
収支不足額 10億6,624万円

建設改良費 10億8,995万円
企業債償還金 3億2,755万円



減価償却費等の損益勘定留保資金と積立金等で補填します。



### 3 収益的収支

#### (1) 収益的収入

単位：千円

項目	本年度	前年度	比較
ガス売上 (料金収入)	5,925,373	6,002,140	△ 76,767

○予定年度末供給戸数 46,651戸

- ・令和2年度予定供給戸数46,581戸に対し、70戸(0.2%)増加の見込み

○予定年間供給量 62,017,327m<sup>3</sup>

- ・令和2年度当初予定供給量62,286,602m<sup>3</sup>に対し、269,275m<sup>3</sup>(0.4%)減少の見込み
- ・一般契約は、平成17年度から令和2年度の供給量の推移から算出
- ・選択契約は、予定供給件数に直近5年平均の1件当たりの供給量を乗じて算出
- ・大口契約は、各需要家の計画年間使用量を供給量として見込む。

○ガス売上

- ・契約種別ごとの予定年間供給量に販売単価を乗じて算出

ガス供給量(45.0MJ)

単位：m<sup>3</sup>

区分	本年度	前年度	比較
一般契約	20,711,668	21,066,838	△ 355,170
選択契約	11,071,359	11,444,164	△ 372,805
(小型空調)	908,090	957,366	△ 49,276
(空調)	793,801	831,999	△ 38,198
(天然ガススタンド)	12,480	13,892	△ 1,412
(時間帯別B)	4,594,836	4,607,165	△ 12,329
(家庭用温水暖房)	1,679,539	1,670,290	9,249
(融雪)	453,441	450,662	2,779
(小型空調パッケージ)	1,902,926	2,164,685	△ 261,759
(コージェネレーション)	685,055	711,119	△ 26,064
(家庭用コージェネレーション)	41,191	36,986	4,205
大口契約	30,234,300	29,775,600	458,700
合計	62,017,327	62,286,602	△ 269,275

単位：千円

項目	本年度	前年度	比較
営業雑収益	309,413	313,313	△ 3,900

○予定工事件数

- ・新設工事で227件、改造・増設工事で459件を予定

単位：千円

項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
附 帯 事 業 収 益 (液化石油ガス販売)	5,601	6,193	△ 592

○液化石油ガス供給戸数	大瀉区 168 戸		
○液化石油ガス供給量	12,194 m <sup>3</sup>		
○収益内訳	液化石油ガス売上	5,147 千円	
	受注工事収益	253 千円	
	長期前受金戻入	201 千円	
		<u>5,601 千円</u>	

単位：千円

項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
繰 入 金	3,750	4,634	△ 884

○職員の児童手当に係る一般会計負担金  
3歳に満たない児童に係る給付に要する経費の15分の8及び3歳以上中学校修了前の児童に係る給付に要する経費等の合計額

単位：千円

項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
長 期 前 受 金 戻 入	314,030	377,947	△ 63,917

○長期前受金戻入  
現金収入を伴わない収益で、長期前受金に対する令和3年度分の収益化額  
※長期前受金・・・下水道工事等に伴う導管移設に係る工事負担金又は一般会計からの繰入金などの財源

単位：千円

区 分	本 年 度	前 年 度	比 較
工 事 負 担 金	299,090	350,702	△ 51,612
受 贈 財 産 評 価 額	427	625	△ 198
繰 入 金	14,513	26,620	△ 12,107
合 計	314,030	377,947	△ 63,917

単位：千円

項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
そ の 他	38,860	38,282	578

○受取利息 303 千円

資金運用による定期預金利息及び貸付金利息

○雑収益 38,557 千円

下水道受託収益及び補償修繕収益など

(2) 収益的支出（中期経営計画主要事業は事業名に◎印）

単位：千円

事 業 名	本 年 度	前 年 度	比 較
原 料 ガ ス 購 入 業 務	3,840,768	3,861,950	△ 21,182

経費内訳

売上原価	2,697,659	事業者間精算費	1,143,109
------	-----------	---------	-----------

【概要】

都市ガスを安定的に供給するために原料ガスを確保する。

ガス購入量 (41.8605MJ)

単位：m<sup>3</sup>

区 分	本 年 度	前 年 度	比 較
一般契約	21,951,049	22,053,641	△ 102,592
選択契約	10,877,876	11,273,974	△ 396,098
(小型空調)	934,334	985,033	△ 50,699
(空調)	801,539	818,212	△ 16,673
(天然ガススタンド)	12,839	14,294	△ 1,455
(時間帯別B)	4,727,629	4,740,317	△ 12,688
(家庭用温水暖房)	1,239,008	1,265,417	△ 26,409
(融雪)	458,077	455,494	2,583
(小型空調パッケージ)	1,957,923	2,227,246	△ 269,323
(コージェネレーション)	704,854	731,670	△ 26,816
(家庭用コージェネレーション)	41,673	36,291	5,382
大口契約	31,108,097	30,636,133	471,964
合 計	63,937,022	63,963,748	△ 26,726

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
供給所運転管理業務	12,169	11,678	491
<b>経費内訳</b>			
備用品費	3,269	保険料	206
修繕費	3,949	通信運搬費	1,693
動力費	207	委託料	880
光熱燃料費	534	手数料	132
使用ガス費	1,299		
<b>【目的】</b>			
ガス供給所の運転管理業務の実施及び定期的な点検整備により、施設等の長寿命化を図り、施設の更新需要を抑制する。			
<b>【概要】</b>			
定期的な点検整備を実施し、適正な運転管理に努める。			
<主な費用>			
備用品費	付臭剤		3,151 千円
修繕費	大潟ガス供給所可燃性ガス検知器更新工事		1,859 千円
	中郷ガス供給所付臭ポンプ分解点検修繕		1,573 千円
通信運搬費	各供給所専用回線使用料		1,066 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
供給施設維持管理業務	57,910	55,650	2,260
<b>経費内訳</b>			
報酬	1,743	賃借料	518
手当	187	保険料	256
法定福利費	328	通信運搬費	1,502
備用品費	1,666	委託料	24,429
旅費交通費	54	手数料	404
修繕費	5,235	印刷製本費	617
特別修繕引当金繰入額	13,000	租税課金	45
動力費	131	雑費	40
光熱燃料費	2,524	固定資産除却費	5,016
使用ガス費	215		
<b>【目的】</b>			
地区整圧器室、整圧器の維持管理業務の実施及び定期的な点検整備により、施設等の長寿命化を図り、施設の更新需要を抑制する。			
<b>【概要】</b>			
整圧器等施設の定期的な点検整備を実施し、適正な維持管理に努める。			
＜主な費用＞			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,743 千円
修繕費	各整圧器室建物修繕工事		3,167 千円
委託料	維持管理業務委託		7,565 千円
	整圧器分解点検業務委託		6,422 千円
	南部ガス供給所電気計装設備点検業務委託		2,810 千円
	北本町ガス供給所地下水水質調査業務委託		172 千円
固定資産除却費	導管本支管撤去工事		3,718 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ガス管修繕業務	48,077	41,469	6,608
経費内訳			
備用品費	1,010	手数料	1
修繕費	46,783	印刷製本費	162
光熱燃料費	10	租税課金	17
保険料	94		
<特定財源>			
その他雑収益	2,094		
【目的】			
ガス漏えいなど導管に係る事故の未然防止と拡大防止を図る。			
【概要】			
ガス事業関係法令並びにガス漏えい及びガス事故等処理要領に基づくガス導管故障箇所の調査修繕を実施する。			
<主な費用>			
修繕費	責任修繕工事委託		34,075 千円
	責任修繕工事舗装本復旧		6,447 千円
	補償修繕工事委託		2,102 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ガスメーター取替業務	106,620	87,770	18,850
経費内訳			
備用品費	66	通信運搬費	333
修繕費	86,232	委託料	19,912
光熱燃料費	4	印刷製本費	73
【目的】			
計量法に基づき、検定満期を迎えるガスメーターを取り替える。			
【概要】			
令和3年度に検定満期を迎えるガスメーターを取り替える。			
<主な費用>			
修繕費	取替用ガスメーター（予定数5,284個）		85,553 千円
委託料	取替業務委託		19,912 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
受注工事業務	297,272	298,564	△ 1,292
<b>経費内訳</b>			
報酬	1,319	賃借料	443
手当	143	保険料	28
法定福利費	243	通信運搬費	20
備用品費	479	委託料	1,758
修繕費	4,011	工事請負費	287,838
光熱燃料費	43	器具販売原価	947
<特定財源>			
受注工事収益	297,272		
<b>【目的】</b>			
安全で安定した供給を行うための装置工事の施工に係る管理を行う。			
<b>【概要】</b>			
申込みのあった内管工事の設計審査及び竣工時の検査を実施するとともに、適正な施工となるよう指定工事業者に対して指導・監督を行う。			
<主な費用>			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,319 千円
修繕費	受注修繕工事委託		3,764 千円
委託料	工事受付システム維持管理費		1,758 千円
工事請負費	受注工事請負費		287,838 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
液化石油ガス販売事業	5,553	6,143	△ 590
経費内訳			
売上原価	2,614	委託料	993
備用品費	546	手数料	59
修繕費	718	印刷製本費	36
光熱燃料費	36	負担金及び補助	55
賃借料	49	雑費	38
保険料	12	減価償却費	202
通信運搬費	40	工事請負費	155
<特定財源>			
液化石油ガス売上	5,099	長期前受金戻入	201
液化石油ガス受注工事収益	253		
【目的】			
液化石油ガスを安全で安定的に供給する。			
【概要】			
液化石油ガス供給施設（大湊区）の維持管理業務を適正に行い、安全で安定的にガスを供給する。			
供給戸数 168戸（対前年度比3戸の減）			
販売量 12,194m <sup>3</sup> （対前年度比438m <sup>3</sup> 、3.5%の減）			

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
◎白ガス灯外内管対策	897	1,043	△ 146
経費内訳			
委託料	897		
【目的】			
需要家の敷地に埋設された経年埋設内管（白ガス管）を耐震性・耐腐食性に優れたポリエチレン管へ入れ替えることで、ガス漏れ事故の防止及び耐震性の向上を図る。			
【概要】			
需要家に対し、改善工事の趣旨を周知・説明し、白ガス灯外内管の削減に努める。改善折衝は、4年に1回の頻度で行う内管漏えい検査及び消費機器調査と合わせて行う。 ※灯外内管：道路境界からガスメーターまでのガス管			
<主な費用>			
委託料	白ガス管折衝業務委託 （折衝件数 995件）		897 千円



単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
◎ ガス管漏えい検査	3,036	4,808	△ 1,772
経費内訳			
委託料	3,036		
【目的】			
道路に埋設されているガス管の漏えい検査を実施し、安全で安定した供給を確保する。			
【概要】			
ガス供給エリアを4ブロックに分割し、ガス事業法に基づき4年に1回の頻度で計画的に漏えい検査を行う。令和3年度は柿崎区、大潟区及び中郷区を予定する。			
＜主な費用＞			
委託料	導管漏えい検査業務委託 (検査延長 99,588m)		3,036 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
◎ 定期保安調査	44,221	42,957	1,264
経費内訳			
報酬	1,329	通信運搬費	78
手当	143	委託料	39,277
法定福利費	243	手数料	12
備用品費	393	印刷製本費	1,566
修繕費	999	租税課金	7
光熱燃料費	43	需要開発費	105
保険料	26		
【目的】			
ガス事業法に基づく内管漏えい検査及び消費機器調査を実施し、漏えいや消費機器の不備による事故を未然に防止することで、需要家の安全なガス使用を確保する。			
【概要】			
ガス事業法に基づき、4年に1回の頻度で内管漏えい検査及び消費機器調査を実施する。			
＜定期保安調査件数＞			
	戸建一般需要家検査	8,393 件	
	集合一般需要家検査	3,717 件	
	業務用需要家検査	203 件	
	閉栓灯外内管検査	1,539 件	
	不在需要家訪問	530 件	
		14,382 件	
＜主な費用＞			
委託料	内管漏えい検査及び消費機器調査業務委託		39,171 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
マッピングシステム整備業務	4,153	4,020	133
<b>経費内訳</b>			
報酬	1,605	旅費交通費	53
手当	167	修繕費	33
法定福利費	295	委託料	2,000
<b>【目的】</b>			
マッピングシステム（ガス水道管路情報システム）の管理を行い、ガス施設の維持管理及び将来計画に活用する。			
<b>【概要】</b>			
工事竣工に伴うガス管情報の修正などを行い、システムを適正に維持管理する。			
<主な費用>			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,605 千円
委託料	マッピングシステムソフト保守業務委託		2,000 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
都市ガスPR活動業務	18,865	20,047	△ 1,182

経費内訳

報酬	6,650	光熱燃料費	81
手当	532	保険料	58
法定福利費	935	通信運搬費	264
備用品費	45	手数料	23
旅費交通費	175	租税課金	10
修繕費	256	需要開発費	9,836
<特定財源>			
その他雑収益	447		

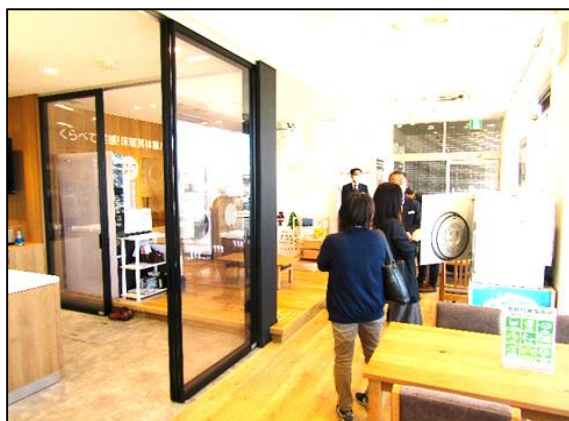
【目的】

クリーンなエネルギーで供給安定性の高い都市ガスを幅広くPRすることで、新規の業務用及び家庭用の販売拡大を目指すとともに、既存需要家の都市ガス離れの防止を図る。

【概要】

今後の都市ガス営業の拠点として、最新ガス機器を「いつでも」「見て」「触れる」ことが出来る体感型ショールーム「ガステラス」が令和2年11月にオープンしたことから、令和3年度は「ガステラス」を営業拠点に、新築やリフォームを検討されるお客さまに対し、都市ガスの利便性や安全性をPRするとともに、家庭用温水暖房契約などの割引料金プランを提案していくなど、都市ガスの採用拡大に向けた情報発信を進めていく。

これに加え、家庭用ガス販売では、住宅販売会社等のサブユーザーへの営業活動やメディアの活用及びガス水道フェア等のPRイベントの実施、また、業務用ガス販売では、重油等の他燃料を使用している工場などに対し燃料転換の提案を行い、都市ガスの需要拡大につなげていく。



ガステラス



ガス水道フェア  
(令和元年10月26、27日開催)

<主な費用>

報酬	会計年度任用職員 3人	6,650 千円
需要開発費	ガス水道フェア経費	3,632 千円
	ショールーム経費	2,386 千円
	ガス広告経費	2,342 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
◎都市ガス機器設置助成金	4,102	3,812	290
経費内訳			
需要開発費	4,102		
【目的】			
人口減少やオール電化等の他燃料との競合などにより減少傾向にある家庭用ガス販売量維持のため、都市ガス機器設置に対し助成金を交付する。			
【概要】			
従来型のガス機器に比べ環境負荷を軽減する家庭用燃料電池「エネファーム」と高効率給湯器「エコジョーズ」の設置費の助成を行い、エネルギーの省力化を図るとともに、温水暖房等の利用による家庭用ガス販売量の拡大を図る。			
近年の助成実績及び今後の普及見込みを勘案し、エネファーム助成金の助成台数を3台から5台に増加（1台当たりの助成金額40万円は変更なし）するとともに、エコジョーズ助成金の助成台数を85台から55台とする見直しを行った。			
また、上越の天候特性やコロナ禍における家庭内衛生環境の変化への対策に効果があるガス衣類乾燥機について、設置費の一部を助成し、使用データの提供を受けるなど、今後の営業展開に向けた市場調査を行う。			
<主な費用>			
エネファーム	400 千円/台	× 5 台	= 2,000 千円
エコジョーズ	30 千円/台	× 35 台	= 1,050 千円
(温水暖房機器同時設置の場合)			
エコジョーズ	20 千円/台	× 20 台	= 400 千円
(温水暖房機能付本体設置の場合)			
ガス衣類乾燥機	30 千円/台	× 10 台	= 300 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
料金徴収委託業務	93,714	93,535	179
経費内訳			
修繕費	275	委託料	83,321
賃借料	1,149	手数料	155
通信運搬費	8,117	雑費	697
<特定財源>			
その他雑収益	33,410		
【目的】			
民間ノウハウを活用することで、事務効率の向上とお客さまサービスの充実を図る。			
【概要】			
民間事業者に包括的な料金徴収業務委託を実施し、収納率の維持向上を目指す。 委託期間：令和2年4月～令和7年3月（5年間）			
<主な費用>			
賃借料	料金システムリース料		1,149 千円
通信運搬費	料金納入令書郵送料		8,033 千円
委託料	料金等徴収業務委託		74,866 千円
	料金口座振替及びコンビニ収納手数料		7,779 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
無線設備管理業務	256	103	153
経費内訳			
修繕費	44	委託料	153
通信運搬費	46	手数料	13
【目的】 ガスの漏えいや災害時に備え、緊急連絡用無線設備を適正に維持管理する。			
【概要】 電波法に基づく許可申請及び設備の維持管理を行う。 ＜主な費用＞			
委託料	無線設備定期点検業務委託		99 千円
	中郷区及び南部営業所無線設備廃止業務委託		54 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
局ネットワーク管理業務	5,087	4,196	891
経費内訳			
備用品費	150	通信運搬費	476
修繕費	110	委託料	4,186
賃借料	165		
【目的】 局のネットワーク、サーバー機器等について、セキュリティを含め適正に維持管理する。			
【概要】 局のネットワークやサーバー機器等の設定及び管理を行う。 ＜主な費用＞			
委託料	電算処理運用支援業務委託		2,297 千円
	局内イントラネット保守委託		1,820 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
入札業務	2,535	2,255	280
経費内訳			
報酬	1,319	賃借料	29
手当	143	委託料	4
法定福利費	258	印刷製本費	3
備用品費	22	負担金及び補助	664
旅費交通費	93		
【目的】 建設工事等について、透明性、公平性及び競争性の高い入札を適正かつ円滑に執行する。			
【概要】 事業者に対する利便性の向上及び入札業務の事務軽減を図るため、全ての建設工事及び建設コンサルタント等業務委託を対象に引き続き電子入札を実施する。 ＜主な費用＞			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,319 千円
負担金及び補助	電子入札システム使用負担金		640 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
庁舎維持管理業務	9,459	35,018	△ 25,559
経費内訳			
備用品費	193	保険料	35
修繕費	165	通信運搬費	554
光熱燃料費	1,743	委託料	4,836
使用ガス費	440	手数料	1,092
賃借料	352	雑費	49
＜特定財源＞			
その他雑収益	7		
【目的】 本局庁舎の適切な維持管理により執務環境を確保する。			
【概要】 本局庁舎施設及び設備の定期的な保守点検等を実施し、執務環境の安全確保に努める。令和2年度において新庁舎建設に伴う必要備品の購入が完了したことから、令和3年度の事業費は減少する。 ＜主な費用＞			
光熱燃料費	庁舎電気料金		1,349 千円
委託料	庁舎維持管理業務委託		3,001 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
経理業務	2,925	2,825	100
経費内訳			
報酬	1,319	委託料	1,072
手当	143	印刷製本費	18
法定福利費	259	負担金及び補助	11
旅費交通費	103		
【目的】			
地方公営企業法を始めとする関係法令に基づき適正な会計処理を行うことにより、事業経営の健全性を維持する。			
【概要】			
上越市ガス水道事業会計規程に基づく経理処理を行うとともに、会計システムの適正な管理を行う。			
＜主な費用＞			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,319 千円
委託料	企業会計システム保守業務委託		1,072 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
◎ 職員研修	1,608	1,443	165
経費内訳			
備用品費	92	手数料	15
旅費交通費	877	負担金及び補助	624
【目的】			
外部研修、内部研修を通じて職員の知識及び技術力の向上を図る。			
【概要】			
職員の技術や知識の向上・継承のため、ガスパ接続を行う実地研修などの内部研修や日本ガス協会等が主催する外部研修へ参加する。また、職員に技術資格取得を奨励するため、受験費用等の一部助成を行う。			
＜主な費用＞			
旅費交通費	研修会旅費交通費		877 千円
負担金及び補助	研修会参加費等		624 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
その他営業費用	1,644,103	1,763,204	△ 119,101

経費内訳

報酬	1,745	保険料	1,352
給料	151,073	通信運搬費	138
手当	72,872	委託料	655
賞与引当金繰入額	18,946	手数料	93
法定福利費	47,730	印刷製本費	3
法定福利費引当金繰入額	3,746	交際費	139
厚生福利費	532	負担金及び補助	6,989
退職給付費	25,804	食糧費	27
備用品費	5,185	租税課金	39
旅費交通費	1,175	貸倒引当金繰入額	385
修繕費	533	雑費	355
光熱燃料費	412	固定資産除却費	12,755
使用ガス費	29	減価償却費	1,290,754
賃借料	637		

【概要】

ガス事業を運営することに附帯して生ずる業務を行う。

<主な費用>

職員給与費（営業費用に係る職員分）

単位：千円

年度	職員数	給料	手当	退職給付費	法定福利費	合計
本年度	37人	151,073	88,916	25,804	51,162	316,955
前年度	37人	151,521	91,635	24,595	51,760	319,511
比較	0人	△ 448	△ 2,719	1,209	△ 598	△ 2,556

※手当は児童手当を除く



単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
その他営業雑費用	8,695	9,113	△ 418

経費内訳

給料	4,390	法定福利費	1,367
手当	2,237	法定福利費引当金繰入額	113
賞与引当金繰入額	567	厚生福利費	21
<特定財源>			
受注工事収益	8,695		

【概要】

申込みのあった内管工事の設計審査及び竣工検査を実施するとともに、適切な施工となるよう指定工事業者に対して指導・監督を行う。

<主な費用>

職員給与費（営業雑費用に係る職員分）

単位：千円

年度	職員数	給料	手当	法定福利費	合計
本年度	1人	4,390	2,559	1,480	8,429
前年度	1人	4,572	2,697	1,583	8,852
比較	0人	△ 182	△ 138	△ 103	△ 423

※手当は児童手当を除く

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
支払利息	42,374	48,290	△ 5,916

経費内訳

企業債利息	42,374
-------	--------

【目的】

既発行企業債に係る利息を確実に支払うとともに、新規発行を抑制して支払利息の削減を行い、将来の財務負担を軽減する。

【概要】

中長期的な経営収支見通しに基づき、内部留保資金を活用し企業債の新規発行を行わないことにより、支払利息額の着実な減少に努める。

<支払先>

財務省	18,794 千円
地方公共団体金融機構	23,580 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
その他営業外費用	97,106	76,771	20,335
経費内訳			
消費税及び地方消費税	96,106	予備費	1,000
【概要】			
＜主な費用＞			
消費税及び地方消費税			96,106 千円

#### 4 資本的収支

##### (1) 資本的収入

単位：千円

項目	本年度	前年度	比較
工事負担金	351,265	227,328	123,937

○下水道工事等に伴う移設補償費及び団地造成等に伴う導管布設負担金 単位：千円

区分	本年度	前年度	比較
区画整理団地等	40,551	11,792	28,759
一般他工事関連	19,443	11,607	7,836
下水道関連	290,403	202,604	87,799
その他工事等	868	1,325	△ 457
合計	351,265	227,328	123,937

単位：千円

項目	本年度	前年度	比較
固定資産売却収入	0	140,557	△ 140,557

○新庁舎移転に伴う一般会計への旧ガス水道局庁舎売却収入の皆減

(2) 資本的支出

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
◎ 供給施設更新事業	19,776	17,408	2,368
経費内訳			
土地	2,748	構築物	528
建物	9,350	導管本支管	7,150
【目的】			
老朽化したガス供給施設の更新を行い、安全で安定した供給を図る。			
【概要】			
供給停止による二次災害の防止及び早期復旧を目的としたガス管網ブロック化計画に基づいて、1ブロックに整圧器1基の管網を構築する。			
＜主な費用＞			
土地	大字中田原地内整圧器室築造用地取得費		2,748 千円
建物	大字中田原地内整圧器室築造工事		9,350 千円
導管本支管	大字中田原地内整圧器購入費		7,150 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
設計業務	10,491	12,305	△ 1,814
経費内訳			
導管本支管	10,491		
【目的】			
ガス本支管工事の設計を行い、設計図及び設計書を作成する。			
【概要】			
CAD設計積算システムを使用して設計積算を行うとともに、業務の一部について委託により実施する。			
＜主な費用＞			
導管本支管	本支管工事設計業務委託		7,689 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
その他建設改良費	1,387,247	1,705,276	△ 318,029

経費内訳

工具器具備品	14,956	ソフトウェア	275
ガスメーター	12,927	企業債償還金	327,559
導管本支管	944,016	導管供給管（附帯事業）	511
導管供給管	87,003		
<特定財源>			
工事負担金	351,265		

【概要】

令和2年度に庁舎新築工事が完了したことから令和3年度の事業費は減少する。

<主な費用>

職員給与費（設計監督業務に係る職員分）

単位：千円

年度	職員数	給料	手当	法定福利費	合計
本年度	10人	38,455	24,578	13,182	76,215
前年度	10人	37,772	23,926	12,865	74,563
比較	0人	683	652	317	1,652

※手当は児童手当を除く

工具器具備品	事務用パソコン15台更新	3,978千円
	ファイルサーバー更新	2,704千円
導管本支管	下水道関連工事など導管本支管工事費 布設延長 L=7,256m	889,316千円
企業債償還金	既発債償還元金	327,559千円

## 5 第2次ガス事業中期経営計画業務指標との比較

業務指標名	単位	指標の 優位性	計画	予算	比較	増減理由
白ガス灯外内管 残存率	%	↓	10.1	10.1	0.0	—
職員資格取得度	件/人	↑	1.89	2.16	0.27	職員の資格取得件数が増加しているため
家庭用選択契約 獲得件数	件	↑	100	100	0	—
家庭用1戸1月当たり ガス販売量	m <sup>3</sup> /件	↑	37.0	37.0	0.0	—
大口契約、業務用 選択契約獲得件数	件	↑	4	4	0	—
損益勘定所属職員 1人当たり ガス販売量	千m <sup>3</sup> /人	↑	1,575	1,632	57	一般契約及び大口契約需要家の販売量が増加するため
経常収支比率	%	↑	105.6	103.0	△ 2.6	令和2年4月実施の料金改定による収入の減少及び原料ガス購入費用が増加しているため
ガス売上に対する 企業債利息割合	%	↓	0.8	0.8	0.0	—
ガス売上に対する 企業債残高割合	%	↓	41.9	42.2	0.3	企業債残高は計画通り減少しているものの、令和2年4月実施の料金改定により収入が減少するため
収納率	%	↑	99.5	99.5	0.0	—

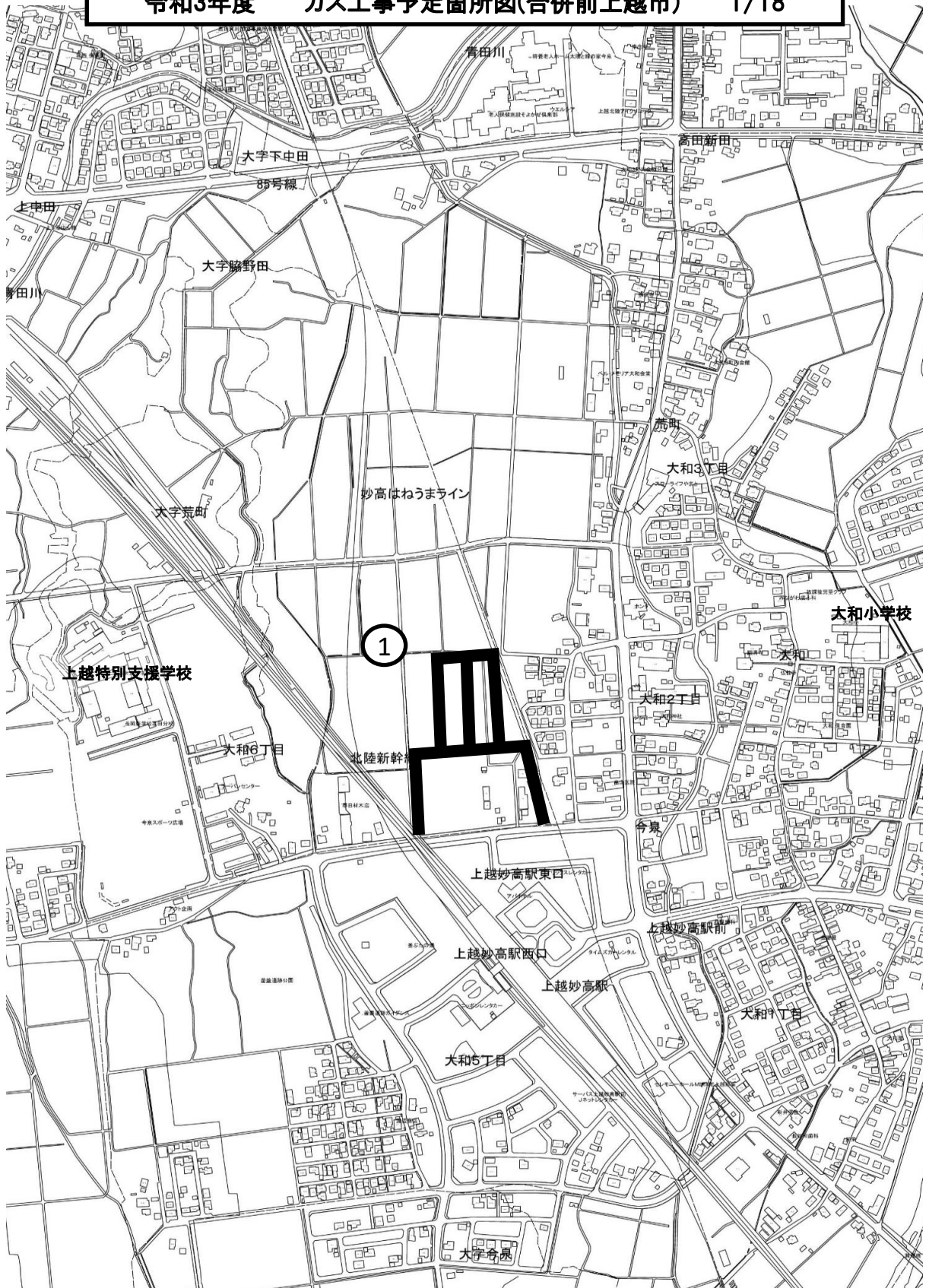
※指標の優位性： ↑ 高いほうが望ましい ↓ 低いほうが望ましい

- ・業務指標は、毎年度の予算、決算において計画値との比較を行い、事業の評価・分析及び進捗管理を行う。

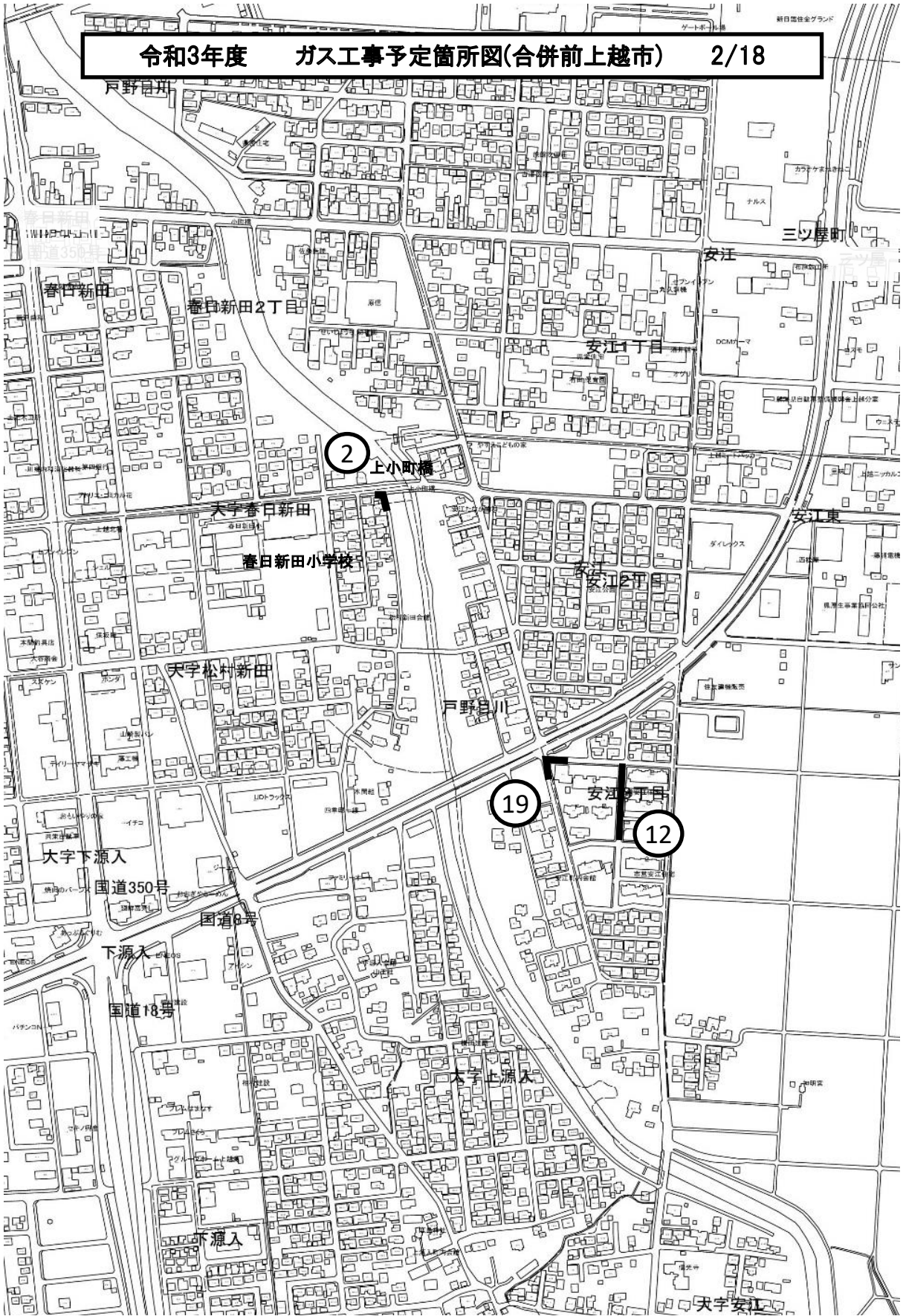
## 6 導管本支管工事箇所明細

地区名	口 径 (mm)	延 長 (m)
( 1) 大和5丁目他地内	φ 150~75	L= 795
( 2) 安江2丁目他地内	φ 75	L= 35
( 3) 東城町3丁目地内	φ 100~50	L= 165
( 4) 東城町3丁目地内	φ 150~100	L= 100
( 5) 大和5丁目他地内	φ 150	L= 330
( 6) 大字青木地内	φ 100~75	L= 20
( 7) 中央5丁目他地内	φ 200~50	L= 65
( 8) 石橋2丁目地内	φ 150~100	L= 230
( 9) 石橋2丁目地内	φ 150~75	L= 230
(10) 新光町1丁目地内	φ 100	L= 125
(11) 大字藤巻地内	φ 150	L= 190
(12) 安江3丁目地内	φ 100~50	L= 110
(13) 石橋1丁目地内	φ 200	L= 75
(14) 幸町地内	φ 100~50	L= 210
(15) 南本町1丁目地内	φ 75~50	L= 220
(16) 大字石沢地内	φ 50	L= 150
(17) 港町2丁目地内	φ 75	L= 10
(18) 大字中田原地内	φ 200~150	L= 60
(19) 安江3丁目地内	φ 100	L= 40
(20) 大豆2丁目地内	φ 50	L= 10
(21) 大字三田新田地内	φ 200	L= 5
(22) 東城町1丁目地内	φ 150	L= 55
(23) 大字下稻塚地内	φ 50	L= 10
(24) 東本町3丁目地内	φ 150~50	L= 60
(25) 大潟区犀潟地内	φ 100~75	L= 160
(26) 大潟区犀潟地内	φ 50	L= 60
(27) 中郷区藤沢地内	φ 100	L= 130
(28) 中郷区藤沢地内	φ 50	L= 140
(29) 市内各所 (下水道関連)	φ 200~50	L= 3,466

※経年管更新事業、低圧導管耐震化事業及び中圧導管網整備事業が平成30年度で事業が完了したため、導管本支管工事は全て「その他建設改良費事業」で実施

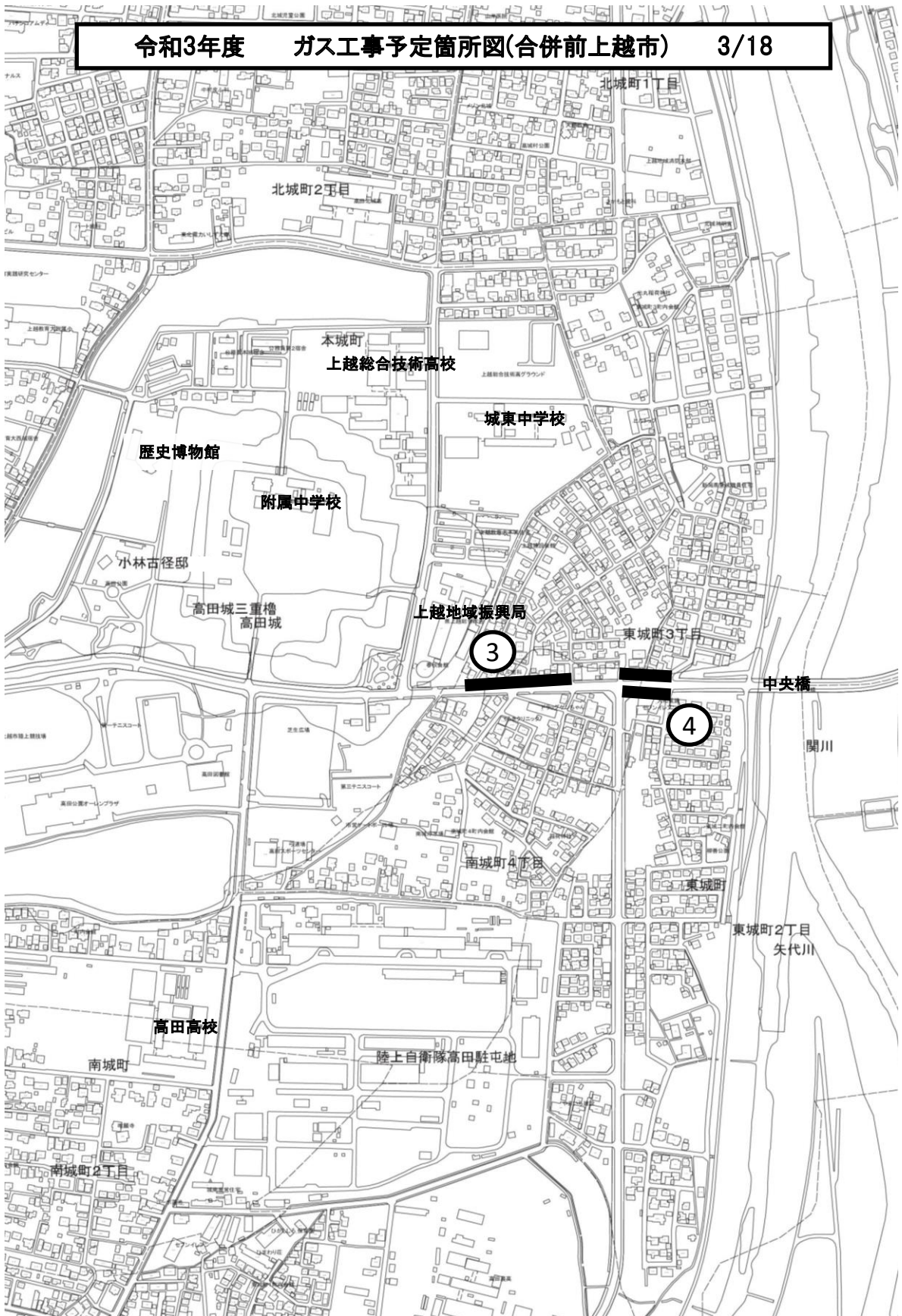


令和3年度 ガス工事予定箇所図(合併前上越市) 2/18

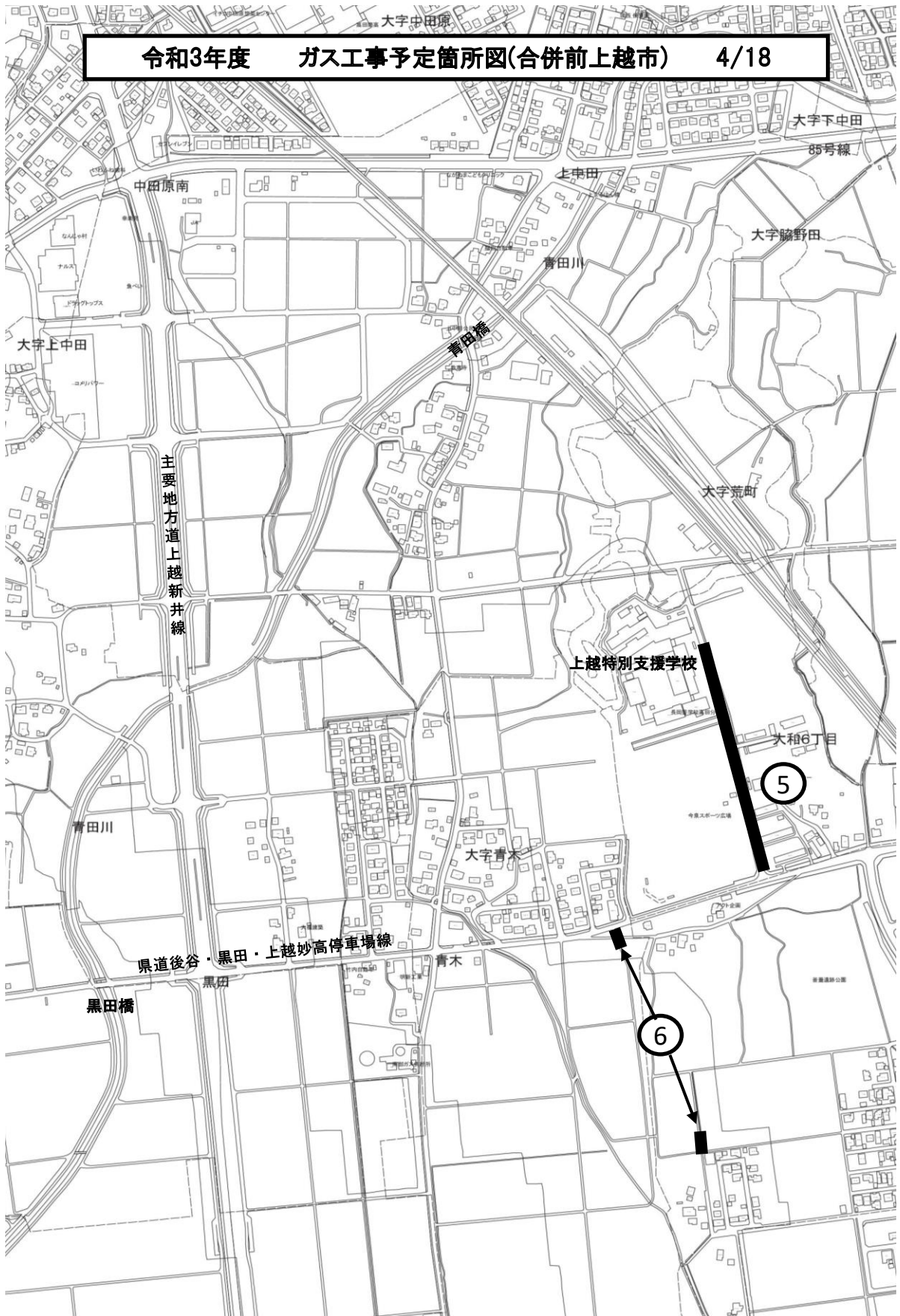




令和3年度 ガス工事予定箇所図(合併前上越市) 3/18



令和3年度 ガス工事予定箇所図(合併前上越市) 4/18





令和3年度 ガス工事予定箇所図(合併前上越市) 6/18

